

各 位

一般財団法人アジア太平洋研究所
 所 長 宮 原 秀 夫
 代表理事 岩 野 宏

APIR・ILO共催シンポジウムのご案内
 「アジアビジネスにおけるSDGs実装化に向けて～好事例に学ぶ～」

前略 昨今の自然災害の状況をみましても地球の持続可能性を真剣に考え行動していかなければならない時代になっていることを痛感いたします。そのような中で、国連が貧困のない、持続可能な世界を次世代に受けついでいくことを目指した世界規模の目標である SDGs に国内外の注目が集まっております。特に関西におきましては、2025年の「大阪・関西万博」の中心的コンセプトのひとつに SDGs が掲げられており、また企業活動においては、サプライチェーンがグローバル化していることに伴い、自社及び海外の調達先におけるディーセント・ワークの達成を実現するための SDGs 実装化戦略が持続的なビジネスの成長の鍵となります。中でも、アジアビジネスにおいて生産、市場ともに重視しなければならない国の一つが、中国です。

そこで本シンポジウムでは、欧州連合(EU)が主に資金拠出するEU・ILO・OECD協働プロジェクト^{注)}で実施した日本と中国での調査をもとに、企業が SDGs を実装化していくうえで指針となる好事例やSDGs に積極的に取り組む企業や国際機関の情報を提供いたします。なお、本シンポジウムは、APIRの2019年度研究プロジェクト「アジアビジネスにおけるSDGs実装化」(リサーチリーダー：後藤健太 APIR主席研究員)の活動の一環として行うものです。奮ってご参加ください。 草々

記

日 時 2019年11月25日(月) 14:00～16:30
 会 場 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム Room C01+02
 (大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪 タワーC 8階)
 共 催 国際労働機関 (ILO)
 後 援 関西SDGsプラットフォーム

開催次第(予定)

●基調講演

「SDGs実装化戦略～ILOプロジェクトを事例に～(仮題)」

後藤健太 氏 (アジア太平洋研究所 主席研究員、関西大学教授)

「中国の電子・電機産業における責任ある労働慣行～好事例と課題、提言～(仮題)」

黄昆 氏 (中国労働和社会保障科学研究院 副主任兼副研究員)

●パネルディスカッション

*コーディネーター 後藤健太 氏

*パネリスト 黄昆 氏

別府幹雄 氏 (コニカミノルタ関西支社 副支社長)

内海美保 氏 (近畿経済産業局 地域経済部次長)


以上

■ 定 員 先着150名(定員になり次第締め切ります)

■ 使用言語 日中、同時通訳あり ■ 参加費 無料

■ 申込方法 [別紙] 申込用紙に必要事項をご記入の上、e-mail (kouenkai@apir.or.jp) または FAXでお申込み下さい。(当研究所WEBサイトからも申込可能。諸連絡のため、必ず連絡のつくe-mailをお知らせ下さい)

【ご連絡先】TEL: 06-6485-7692 FAX: 06-6485-7689 (担当: 吉道、藤田)

注)  「アジアにおける責任あるサプライチェーン」プロジェクトは、欧州連合(EU)が中心となって資金拠出し、EU、国際労働機関(ILO)、経済開発協力機構(OECD)が共同で実施するプロジェクトです。本セミナーは、ILOがこのプロジェクトの下APIRと協力し開催します。

[別紙]

APIR・ILO共催シンポジウム(2019.11.25)

【お申込用紙】

[日英併記で願ひ致します]

ご送信先：FAX. 06-6485-7689

企業・団体名	日	
	英	
連絡先	TEL : e-mail:	FAX :
出席者ご氏名		ご所属・役職
日		
英		
日		
英		
日		
英		
日		
英		
日		
英		

【ご連絡先】 TEL : 06-6485-7692 FAX : 06-6485-7689 (担当：吉道、藤田)

* ご記入いただいた情報は、当研究所からの各種連絡・情報提供のために利用するのをはじめ、講師には参加者名簿として配付させていただきます。